学校だより

内房の風

平成31年4月25日　第2号
富士宮市立内房小学校
富士宮市内房3909番地
TEL 65-0104
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　e-ub002@fujinomiya-shizuoka.ed.jp



学校教育目標　未来に向かって「かがやけ」内房の子

３つの山と「たけのこの里学習」

校　長　　佐藤展彰



内房小に赴任して、早３週間。その間、校歌を歌う機会が何回かありました。その中で、１番～３番の歌詞の最初に「山」が登場することに気が付きました。

１番には当然のごとく「霊峰富士」。市内ほとんどの小中学校の校歌に登場するほど、私たちにとっては身近な山です。内房小からも北の方角に望み、その山容の大きさ・優雅さから、本校の校歌に歌われるのもうなずけます。

２番には「白鳥山」。学校からは西の方角に、富士宮の市街地から見るよりも遙かに大きく、堂々とそびえています。この白鳥山について、平成 29 年度の３，４年生が「白鳥山って、どんな山なのかな」という課題を持ち、「たけのこの里学習」の時間を活用して追究しました。その結果を職員室前の廊下に掲示してあったので、改めて紹介します。

①白鳥山の中腹に「七面宮」という神社の跡がある。かつて女人禁制だった白鳥山に、深い信仰心を持って登り続けた女性を祭った神社で、今でもお祭りの際に「奉納相撲」が　行われている。

②白鳥山山頂に「のろし台」の跡がある。戦国時代に駿河に進出した武田軍が、敵の来襲をのろしで甲斐国に伝えるために作ったと言われている。内房地区は武田軍と今川軍の戦場にもなり、尾崎地区には戦で亡くなった人々の首塚が残されている。

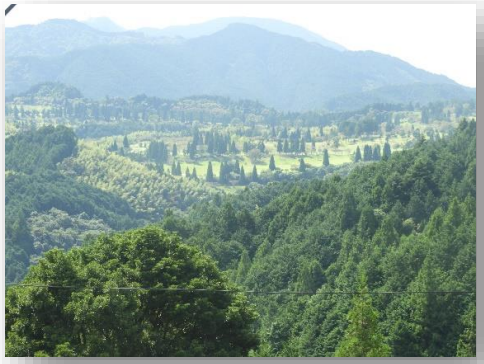
③白鳥山が見える地区では、「どんどん焼き」をやらない。昔、どんどん焼きをやった時に病気が流行ったり火事が起きたりしたため、集落の安全を守るためにどんどん焼きをやってはいけないという言い伝えがある。

上記の内容は、私のように内房の地に初めてやってきた者にとっても大変分かりやすくまとめられており、子供たちの学びの深さ、表現力の豊かさを感じることができました。それと共に、地域の皆さんが子供たちの学びに寄り添い、素朴な疑問にも真摯に対応してくださっていることが、たけのこの里学習の支えになっていることも分かりました。



今年度も「未来へつなごう　受け継がれてきた内房への思い」をテーマに掲げ、内房を舞台に３～６年生が「たけのこの里学習」を展開します。子供たちの学びをより深めるためにも、保護者や地域の皆さんの温かい御支援・御指導をよろしくお願いします。

おっと、うっかりしていました。校歌の３番には「大鏡山」が登場します。廻沢川の源流部、大晦日のさらに奥にあることは地図で分かったのですが、内房のどこから見えるのか、登山道はあるのか、どんな言い伝えや伝承があるのか、そもそもなぜ校歌に登場するのか等々、私自身の「？」は尽きません。子供たちに倣い、自ら課題追究をしようかと思案している今日この頃です。



平成最後の学校便りとなりました。１０連休明けには元号が「令和」となり、新しい時代が始まります。新元号に込められた、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育ち、梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように」という思いが実現することを、心から願っています。

◆◇◆　行事をとおして学ぶ子供たち　◆◇◆



内房たけのこ・桜まつり

かがやく学び

４月７日（日）に内房たけのこ・桜まつりが盛大に開催されました。当日は、５・６年生が学校の代表として、内房地区の１年の出来事を伝えたり、校歌を歌ったりして立派に発表することができ、会場を大いに盛り上げました。



交通安全教室

かがやく命

４月11日（木）に富士宮警察や交通安全協会の御指導のもと、交通安全教室が行われました。１年生は、道路の歩き方や横断の仕方について、学校周辺の歩道を歩いたり、横断歩道を横断したりしながら学びました。４年生は、運動場で実際に自転車に乗りながら、交通ルールや自転車の乗り方を学びました。これからも、学んだことを生かし、交通事故ゼロを心掛けていってほしいです。当日は、保護者のボランティアの皆様に御協力いただき、ありがとうございました。



無言清掃

かがやく心

校訓「真面目二働ケ」を受け継いで、今年も、どの学年も、私語なく真面目に協力しながら無言清掃に取り組むことができています。

これからの主な行事（５月）

15日（水） 特３日課・給食なし集団下校 10:50

17日（金） 学校評議員会②授業参観③修学旅行説明会④

22日（水） 新体力テスト　予備日 23 日（木）

30（木）、31日（金） 修学旅行